

中小企業診断士養成課程・進行（案）

1 日 時            2 場 所            3 参 加 者            4 内 容

5 役割の決定

6 演習

(1) 班長挨拶            (2) チームコンセプト            (3) スケジュールの予定

(4) 内 容

ア 主旨・位置づけの確認

イ 前提・制約条件の確認（経営理念・経営方針の見える化）

ウ 事実だし 手法：SWOT分析

エ 特性ごとの情報仕分け 手法：親和図法

オ 問題点・課題の設定 手法：マンダラート・ピラミッドストラクチャ

カ 共通する真因の特定・真因に対する課題の設定

キ これまでの戦略（事業ドメイン）についての検討（比較要素）

ク 全社戦略の設定（あるべき姿の設定） 手法：タイムマシン法・定量数値化

ケ クロスSWOT・複数の戦略オプション設定（仮説）

コ 戦略オプションをMECEで絞る（まとめる） 手法：ポジショニングマップ

サ 戦略オプション評価（やらないことを決める）

※正反対の仮説を入れることも望ましい。

※企業ドメインの検討：現在の経営資源で耐えうるか？新たに必要か？現実的か？

シ サマリーの作成（見える化）

※上から下または下から上に対して一貫性があるかを常に確認する。

ス アクションプランの検討（解決策）・利益計画の検討（根拠の数値化）

※マンダラート・ピラミッドストラクチャで発散・タイムマシン法（詳細版）

※既存構造の解決と構造変革かの両視点を検討する必要がある。

セ プレゼン資料の作成・プレゼンの練習

ソ 最終確認